

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	AMR対策推進費			担当部局庁	健康局			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課			浅沼 一成	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)			関係する計画、通知等	薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成28年4月5日にとりまとめられた「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議とりまとめ)」に基づき、薬剤耐性に関する各種施策を推進することにより、薬剤耐性感染症の発生・まん延を防止することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①AMR対策に関する国際的な連携の強化 AMR対策に関する国際会議を開催し、国際連携の強化を図る。 ②AMRに係る普及啓発 AMR及び薬剤の適正使用について普及啓発を行う。 ③AMRに関する臨床情報センター事業 薬剤耐性に関する医療・福祉における情報を臨床情報センターに集約し、医療専門職、福祉従事者等に向けたオンラインでの情報提供・研修教育を実施する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	344		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	344		
	執行額		-	-	-	-			
執行率(%)		-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	①AMRに関する国際会議の参加国数	参加国数	成果実績	か国	-	-	-	-	-
			目標値	か国	-	-	-	-	11
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	②AMRに係るリーフレット等の配布数	配布数	成果実績	枚	-	-	-	-	-
			目標値	枚	-	-	-	-	4,000
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	③医療従事者等を対象とした研修会の参加者数	参加者数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	1,000
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	①AMRに関する国際会議の開催回数	活動実績	回	-	-	-	-		
		当初見込み	回	-	-	-	-		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	活動実績	当初見込み					
②AMRに係るリーフレット等の作成枚数	活動実績	枚		-	-	-	-
	当初見込み	枚		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	活動実績	回					
③AMRに関する研修会の実施回数	活動実績	回		-	-	-	-
	当初見込み	回		-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「国際会議の開催に要した額」 Y:「国際会議の開催回数」	算出根拠		計算式	X / Y	-	-	-
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「AMRに係るリーフレット等の作成に要した額」 Y:「AMRに係るリーフレット等の作成枚数」	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「AMRに関する研修会に要した額」 Y:「AMRに関する研修会の実施回数」	算出根拠		計算式	X / Y	-	-	-
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「AMRに関する研修会に要した額」 Y:「AMRに関する研修会の実施回数」	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「AMRに関する研修会に要した額」 Y:「AMRに関する研修会の実施回数」	算出根拠		計算式	X / Y	-	-	-
	単位当たりコスト = X / Y						

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	衛生関係指導者養成等委託費	0	276	「新しい日本のための優先課題推進枠」344
	庁費	0	54	
	外国人招へい旅費	0	12	
	委員等旅費	0	1	
	諸謝金	0	1	
	計	0	344	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること										
	施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	AMRに関する国際連携、普及啓発、情報集約・提供を実施することにより、感染症の発生を予防し、まん延の防止を図る事業である。											
	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
		成果実績	-	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
	項目	評価	評価に関する説明									
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信は重要であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するためには、国際的・広域的な対応が必要であり、国が実施すべき事業である。									
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために必要な措置を講じる事業であり、感染症の発生・まん延の防止を図るといふ政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。									
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-										
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無										
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-										
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-										
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-											
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-											
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-										
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-										
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-										

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
		事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの実業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

